

# 東京大学 大学院理学系研究科 物理学専攻 A7 サブコース

## 第2回 シンポジウム 生物物理学の新展開

2015年 **4月17日** (金) 16:50-18:55

東京大学本郷キャンパス 理学部4号館 1220 教室

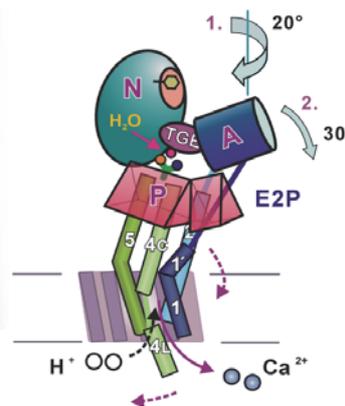
東京都文京区本郷 7-3-1 最寄駅：丸ノ内線・大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅、千代田線 根津駅 TEL: 03-5454-6751

生物は物質で構成されている。したがって物理学を駆使して、生物やその根源にある生命を理解することができるはずである。この立場に立ち、生物物理学は、生命現象を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物・生命を捉える。さらに実験と理論の両アプローチから、生物・生命の普遍的理解を目指す学問である。

近年の技術革新などによって新展開を見せている  
生物物理学研究の面白さを、  
学部生にもわかりやすく解説します。



- 豊島 近 蛋白質を理解するということ
- 野口 博司 細胞内での形づくり
- 能瀬 聡直 脳ネットワークの静と動
- 岡田 真人 脳：物質と情報の交差点
- 陶山 明 越境するゲノム DNA



**参加無料 学部生歓迎 終了後に懇親会あり**

